

フクシマの子どもの未来を守る家

ニュース No. 38 15/04/24 発行

☆ 3月・4月の活動 ☆

● 3/22 (日)

谷定ハウスの柿の剪定作業をしました。また4/20(日)には、雪囲い撤去作業や布団干し、家の中の清掃をし、GW以降いつでもフクシマの親子に滞在していただけるよう準備をすすめました。

● 4/5 (日)

山形市の(旧)あいびい保育園に保育園に不要になった備品をいただきに行ってきました。(NHKのニュースでも報じられたように、あいびい保育園は、山形市に避難している、小さい子どもがいる家族も安心して避難生活を送れるよう、避難者の保育支援の拠点として避難者の方も運営に携わり、お母さんの安心や子ども達の成長・発達に大きな役割を果たしてきました。そしてこの春閉園の運びとなりました。)

● 4/18 (土)

午後～第3コミセンにて「あやまれ、つぐなえ、なくせ原発・放射能汚染 ～いわき市民と避難住民のたたかい～」DVD上映会(参加者:16名)



⇒あいびい保育園 前園長今野さんと。

● 再稼働に待った!

福井地裁、関西電力高浜原発3、4号機(福井県高浜町)に差し止め決定(4/14)

仮処分を申し立てていたのは福井県など4府県の住民9人。地震の揺れの想定が低すぎる上、使用済み核燃料が脆弱な場所に保管されえているなど、深刻な事故が起きる可能性があるとして主張していました。

福井地裁は住民の訴えを全面的に認めました。

☆ 5月の予定 ☆

○ 井岡ハウスの片づけ、掃除。

～井岡ハウスは、5月いっぱいでお返しすることになりました。これまで沢山のフクシマの家族に利用させて頂き、ゆっくり過ごして頂くことができました。本当にありがとうございました!～

○ GW期間中は、3家族が「守る家」利用の予定です。3軒の「家」稼働予定

○ 5/1(金)メーデー 午後2時半より、山王町「まちなかキネマ」にて 庄内医療生協労働組合主催「放射能を浴びたX年後」上映

○ 1954年、ビキニ環礁においてアメリカが行った水爆実験の真相に迫ったドキュメンタリー映画 ※ 前売り券¥1000(学生¥500)あります!

うらへ続く! ⇒

○ 5/16 (土) 映画「日本と原発 私たちは原発で幸せですか？」上映 ※ただ今全国各地で上映中
浜田コミセン (酒田市若浜町1-48) にて 主催: さよなら原発酒田飽海の会

1 回目…午後2時 (1時半開場)

2 回目…午後6時 (5時半開場) 前売り券 ¥500 (当日券¥500)

「守る家」も上記2本の上映会に協力しています!

皆さま、お誘いあわせの上、ご参加ください。

お問い合わせ、チケット申し込みはフクシマの子どもの未来を守る家まで! 080-6023-7490 (高橋)

☆「あやまれ つくなえ なくせ原発・放射能汚染

～いわき市民のたたかい～」DVDを観て。☆

私が特に印象に残ったのは、原発事故による放射線被害によって、自由に子ども達が自然の中で遊び回れなくなったことによる子ども達の主体性喪失です。

私は今まで原発事故による被害として、被ばくされた方々の健康面に焦点を置いていた。しかし、

原発事故の被害は教育の面にも及んでいた。「あれは危ない、これは触っちゃダメ」と放射能汚染によって子ども達を自由に遊ばせることができない現実、子どもの感性の発達を阻害すると共に、子ども達が歩むその後の人生において大きな支障をきたすと思う。

そうしたことを少しでも緩和させる為に、私たち「守る家」が行っている、子どもに安心して伸び伸び活動する場を保障する活動は、大切な取り組みであると思った。

-----Opinion----->

福島県内の中でも、避難者はあちこちに避難している訳だから、あちこちで住民と避難者達のあつれきが生まれてギクシャクしているのだろう。

経済的なことも大きいらしいことは、フクシマのお母さん達からも聞いていたが、そんな風に精神的に分断されるのは、毎日生活しながら本当に辛いと思う。

東電や国を相手にその責任を認めさせるという大きな目標の前には、ぜひ団結して事に当って欲しいと思う。

弁護士が100数十人もかかわっているのは力強いが、これから日本中で支援者が支援していることを表明して伝えていけたらと思う。

-----Opinion----->

奥様を焼身自殺で亡くされた方が、政府担当者に想いを語っている姿が印象的だった。震えながら語っている様子を見て、政府担当者、東電の方達は何かを感じ、そして現実に向き合ってほしいと思った。

【4月15日(水)・4月18日(土)上映会】

お問い合わせ先: 080-6023-7490 (守る家事務局)